

くらし部会

1 今年度の活動目標・目的

目的:障がいの有無に問わず、多様な暮らしを選択できる地域をめざす。

「強度行動障害の現状把握について」「地域生活拠点の課題について」

2 部会開催状況

- ① 6月20日(木) 午前10時00分～午前12時00分 出席者11名
- ② 7月29日(火) 午前9時30分～午前11時30分 出席者13名
- ③ 10月3日(金) 午前9時30分～午前11時30分 出席者13名
- ④ 12月9日(火) 午後1時30分～午後3時30分 出席者12名

3 部会の取組、実施内容

取組	実施内容
強度行動障害の現状把握について	強度行動障害を有する方への支援の現状や問題点などについて、各事業所からあげていただき、課題を整理した。また、当事者側からの意見を伺うために、当事者やそのご家族に向けたアンケート実施やアンケート項目の内容について協議した。
地域生活拠点の機能について	市内の地域生活支援拠点等の運用状況と検証を行うために、令和3年度に評価した内容に新たに現状等を加え、再度部会で共有し、評価を実施した。今後、部会で出た意見や評価を踏まえ、コアメンバー間で再評価し、協議会全体へ報告・評価の実施を行い、不足する施策等を協議する予定。

4 成果

○強度行動障害の現状把握について

・強度行動障害を有する方の支援に関し、市内の現状や問題点などについて、各事業所からあげていただき、課題を整理した。本人や家族の高齢化による状況や特性の変化、市内での受け止めがでず市外でのサービス利用も断られる・お待ちいただく現状、支援方法の研修や見学などによる情報共有・支援者支援の仕組みづくり、新しい事業所利用に伴う支援方法の引継ぎなどの課題があげられた。

さらに当事者の側から課題を抽出できるように、アンケートの実施を検討し、アンケート項目について協議した。アンケート項目を検討する中で、支援者を広げるための研修や制度の緩和・専門職の派遣など、地域で必要な取組や連携方法についての意見交換ができた。さらに、他市町で実施している強度行動障害者支援事業の取組や支援体制についての情報共有も行った。

○地域生活拠点の機能について

・地域生活支援拠点等の運用状況と検証を行うために、令和3年度に評価した内容に新たな現状

などを加えたものを、再度部会で共有し、5つの各機能についての意見交換や評価を行った。前回の評価よりも、あげられた課題数は多く、「緊急時の受け入れ」「体験の機会・場」「専門的人材の確保・育成」に関しては、特に数多くの意見が出た。今後、部会で出た意見や評価を踏まえて、コアメンバーで再評価し、協議会全体への報告と評価の実施を行う。さらに、協議会の評価を踏まえた不足する施策の検討・提案などを協議する予定。

5 課題（次年度以降の実施事項）

- ・支援度の高い方が地域で暮らし続けられるための取組の検討
- ・地域生活支援拠点の課題についての取組の検討

※次年度の具体的な取組

- ・強度行動障害を有する方やその家族へ、市内の現状や問題点などについてのアンケートの実施、課題の抽出・検討
- ・地域生活支援拠点の課題について、地域で必要な連携方法や研修などの取組の検討

くらし部会ワーキング・学生参加型プロジェクト

1 活動目標・目的

目的：福祉事業所の若者人材不足の課題解決に向け、若者世代へ障がい福祉の魅力を発信し、福祉の人材確保に繋げていく。

2 参加者

愛知学泉大学4名（教員2名・学生2名）・実行委員3名・事務局5名

3 ワーキング開催状況

① 5月12日(月) 17時30分～18時30分

出席者 10名(大学教員1名・学生2名・実行委員3名・事務局4名)

② 【福祉健康フェア当日】9月28日(日)9時00分～15時30分

参加学生1名

③ 9月25日(木) 16時30分～17時30分

出席者4名(実行委員3名・事務局1名)

4 部会の取組、実施内容

取組	実施内容
人材確保	学生や地域の若者に福祉に興味をもていただくための取組として、福祉・健康フェアにボランティアとしてご参加いただいた。(今年度は年度途中で参加学生数が変更となったため、「学生・若者企画のブースの出展」は取りやめとなった。)
人材育成	市内福祉事業所若手職員による座談会を行った。それぞれが福祉の仕事を目指すことになったきっかけや仕事を続けていくために必要だと考える職場環境などについての率直な意見交換を行った。

4 成果

・プロジェクト実行委員会第1回までは、ブース企画の提案などの取組について検討していたが、参加学生の体調不良による辞退、別大学も不参加により、学生・若者企画のブースの出展は取りやめとなった。プロジェクト自体の継続も検討されたが、人材育成につながるような取組として、若手職員の意見を伺う座談会に変更し、継続した。また、学生には、福祉・健康フェアにボランティアとしてご参加いただいた。

・座談会では、若い世代の人材確保のための方法や自身が福祉の仕事を選んだきっかけ・仕事を続けられている理由・退職を考える理由、職場の環境改善などについての意見交換を行った。人材確保については、障がいのある方と実際に関わり理解いただくとよい、仕事を継続できるための職場環境などについては、土日休みや休憩時間をしっかり確保して欲しい、顔写真の掲載には抵抗感がある、待遇を向上して欲しいなどの率直な意見を伺うことができた。それらの意見をまとめ、協議会の運営委員会に報告することができた。